学校番号	3030

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究演習	単位数	１単位	年次	３年次 （後期）
使用教科書	『詳説　日本史』（山川出版社）						
副教材等	『新詳　日本史』（浜島書店）・『最新　詳述日本史史料集』（実教出版） 入試過去問 など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史を学ぶことは、現代の日本の諸課題とその展望を探究し、生きる力を養うことである。本授業では、日本史探究の授業で学習した内容についての問題演習を重ねることで、より実践的・応用的な力を身に着けることを目標とする。以下の点に留意し、主体的に演習にあたってほしい。
・問題を通し、歴史という時間軸と現代の我々とのつながりを理解する。
・多くの資料問題に触れ、物事を深く考察する力を養う。
・常に歴史事象に対して「なぜ」の視点を持ち、自ら問いを立てる。
・国内外の地理的・歴史的条件をふまえつつ、歴史的な問いについて多角的・多面的に考察する。
・わが国の文化がいかなる特色をもち、いかなる伝統を形成してきたかについて認識を深める。

2　学習の到達目標

・わが国の歴史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に捉え理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身につける。
・わが国の歴史の諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色など歴史的な見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に考察し、自ら問いを立てることができる。
・よりよい社会の実現を視野に歴史的な課題を主体的に探究する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	わが国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に理解する能力、諸資料を材料に情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身につけている。	わが国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを様々な観点に着目して多面的・多角的に考察し、自ら歴史的な問いを立てることができている。	問題演習を通して、わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての自覚を深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間	原始・古代	［問題演習］ ・日本文化のあけぼの ・古墳とヤマト政権 ・律令国家の形成 ・貴族政治の展開	a:原始・古代がどのような時代であったかを、諸資料を活用しながら東アジア世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解している。 b:原始・古代における諸政策や外交、社会・経済の動向や人々の生活、文化について多面的・多角的に考察し自ら問いを立てている。 c:原始・古代における様々な画期や、現代とのつながりについて考察し、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート
	中世	［問題演習］ ・院政と武士の躍進 ・武家政権の成立 ・武家社会の成長	a:中世がどのような時代であったかを、諸資料を活用しながら東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解している。 b:中世における諸政策や外交、社会・経済の動向や人々の生活、文化、武士の台頭と成長について多面的・多角的に考察し、自ら問いを立てている。 c:中世における様々な画期や、現代とのつながりについて考察し、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート
	近世	［問題演習］ ・近世の幕開け ・幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の動揺	a:近世がどのような時代であったかを、諸資料を活用しながら世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解している。 b:近世における諸政策や外交関係、社会・経済の動向や人々の生活、文化、幕藩体制の成立・展開から動揺・崩壊へと向かう流れについて多面的・多角的に考察し、自ら問いを立てている。 c:近世における様々な画期や、現代とのつながりについて考察し、主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート

後期期末	近代・現代	［問題演習］ ・近世から近代へ ・近代国家の成立 ・近代国家の展開 ・近代産業と生活 ・恐慌と第二次世界大戦 ・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本	a:「歴史総合」での学習も踏まえ、世界情勢の変化に伴う日本の立ち位置や外交のあり方について、資料を活用しながら多面的・多角的に考察し理解している。 b:近現代における諸政策や外交、社会・経済の動向や人々の生活、文化、現代社会とのつながりについて多面的・多角的に考察し、自ら問いを立てている。 c:近現代における様々な画期について考察し、それらを踏まえて現代の日本の課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート
	総合演習	［問題演習］ ・資料問題演習 ・テーマ史演習	a:様々な資料から社会の在り様やその教訓などを学び、これらを効果的に活用することを通して、現代及び未来についての課題について考察し、理解している。また、特定のテーマに関する歴史を原始・古代から近現代まで辿ることを通して、あらゆるものの背景にある歴史を感じ取り、現代とのつながりを理解している。 b:資料を有効に活用し、外交史・内政史・法制史・経済史・文化史などについて多面的・多角的に考察し、自ら問いを立てている。 c:多様な資料に触れ、多面的・多角的な観点から歴史を俯瞰的に考察することを通して、現代日本の課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート	・提出ノート ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度